



東北ヒロセ電機株式会社による

オフサイト型コーポレート PPA サービスの導入について

ヒロセ電機グループの東北ヒロセ電機株式会社(本社：岩手県宮古市、代表取締役社長：鎌形 伸、以下「東北ヒロセ電機」)は、東北電力株式会社(本店：宮城県仙台市、代表取締役社長 社長執行役員：石山 一弘、以下「東北電力」)が提供する太陽光発電所を活用したオフサイト型コーポレート PPA サービス※¹(以下「本サービス」)を、2026 年 10 月 1 日に導入いたしました。

本サービスは、株式会社ウエストホールディングス(本社：広島県広島市、代表取締役社長：江頭 栄一郎、以下「ウエスト HD」)の 100%子会社である株式会社ウエストエネルギーソリューションが開発した宮城県および福島県の太陽光発電所(計 6 地点：合計定格出力※² 267.3kW)で発電した再生可能エネルギー(以下「再エネ」)由来の電力を、岩手県宮古市にある東北ヒロセ電機の宮古工場(岩手県宮古市)に、小売電気事業者である東北電力が 2026 年 10 月 1 日から 20 年間にわたって供給するものです。本サービスの導入により、年間約 220t の CO₂ 排出量削減※³を見込んでいます。

ヒロセ電機グループは、地球環境の保護を重要な経営課題の一つと認識し、これまで国内製造拠点である一関ヒロセ電機株式会社や郡山ヒロセ電機株式会社への太陽光発電設備の設置など、オンサイト型コーポレート PPA による再エネの導入を進めてきましたが、本サービスの導入は初となります。引き続き、2050 年カーボンニュートラルの実現に向けて、CO₂ 排出量削減に向けた取り組みを推進してまいります。

東北電力は、お客さまの環境意識の高まりなどによるニーズの多様化を踏まえ、再エネ由来のコーポレート PPA をはじめとするさまざまな「カーボンニュートラルソリューション」を組み合わせた最適なサービス提供を通じて、お客さまの CO₂ 排出量削減に取り組むとともに、地域社会のカーボンニュートラル実現に貢献してまいります。

ウエスト HD は、太陽光発電設備の導入促進を中心としたエネルギーソリューションをより一層推進し、世界規模の脱炭素社会に向けた「持続可能な社会の実現」に向けて、CO₂ 排出量の削減に取り組んでまいります。

- ※1 小売電気事業者である東北電力が、需要家の敷地外にある太陽光発電所等を所有する発電事業者から再エネ由来の電力を購入し、一般送配電事業者の系統ネットワークを介して需要家に販売するサービス。
- ※2 定格出力とは、発電設備が安定して出力できる電力を指す。
- ※3 環境省・経済産業省「電気事業者別排出係数(2024 年度実績)」における東北電力の「メニュー D(残差)の基礎・調整後排出係数：0.000421t-CO₂/kWh」を基に算出。

以 上

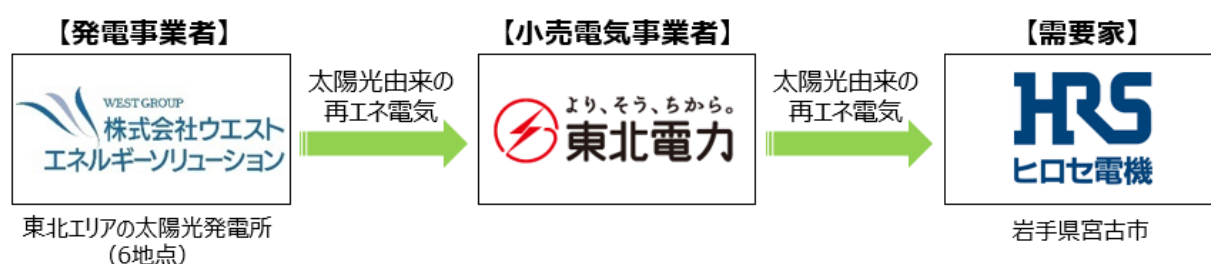
(別紙) オフサイト型コーポレート PPA サービスを活用した電力供給の全体像

オフサイト型コーポレート PPA サービスを活用した電力供給の全体像

1. オフサイト型コーポレート PPA サービスの概要

- (1) 対象施設：東北ヒロセ電機 宮古工場（岩手県宮古市）
- (2) 供給期間：2026 年 10 月 1 日から 20 年間

《イメージ図》



2. 太陽光発電所の概要

(1) 所 有 者	ウエストエネルギーソリューション
(2) 設 置 場 所	宮城県内、福島県内
(3) 合計定格出力	267.3kW (低圧太陽光 6 地点)